※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎(後期)	単位数	１単位	年次	１年後期
使用教科書	高等学校　改訂化学基礎　（第一学習社）						
副教材等	標準セミナー化学基礎　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物質に親しみ、見通しをもって学習、実験などを行い、問題解決の能力と物質を探求する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と物質について、日常生活でも身近な現象である「酸と塩基」、「酸化と還元」の学習を通して、化学的な考察を行ってください。化学的な視点で見ると、どのように見えてくるのか？ひいては、どのように生活し、行動すれば人と自然を大切にし、豊かな生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、自意見を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 日常生活と社会との関連を図りながら、物資とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活と社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・原則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	酸と塩基	酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 中和滴定	a: 酸と塩基、水素イオン濃度とpH、中和反応と塩、中和滴定について理解している。 b: 酸性の原因が水素イオンであり、塩基性の原因が水酸化物イオンであることを理解して、現象を考察する。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
後期期末まで	酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の応用	a:酸化と還元、酸化剤と還元剤、金属の酸化還元反応、酸化還元反応の応用である電池・電気分解について理解する。 b:酸化還元反応は電子の移動であることを理解して、現象を考察する。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度